

(7) 現地調査

ア. 調査概要

この地震により震度5強以上を観測した震度観測点とその周辺について、新潟地方気象台、山形地方気象台および仙台管区気象台は、気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣して、震度観測点の観測環境が地震によって変化していないかどうかの確認および震度観測点周辺の被害や揺れの状況が気象庁震度階級関連解説表と整合が取れているかの確認のため現地調査を実施した。その結果、いずれの震度観測点の観測環境にも異常は認められず、また、周辺の被害状況は気象庁震度階級関連解説表の表現とも概ね整合が取れていたことが確認された。

イ. 調査日

令和元年6月19日（水）

ウ. 調査地域（震度観測点）及び震度観測点の観測環境点検結果

震度5強以上を観測した震度観測点では、観測環境に異常は認められなかった。調査結果を表7-1に調査地域を図7-1に示す。

表7-1 震度観測点の観測環境点検結果

番号	県名	市町村	震度観測点名	震度	調査結果
1	新潟県	村上市	村上市府屋*	6強	適切
2		鶴岡市	鶴岡市温海川	6弱	適切
3	山形県	鶴岡市	鶴岡市温海*	5強	適切
4		鶴岡市	鶴岡市道田町*	5強	適切

観測点名の*印は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す

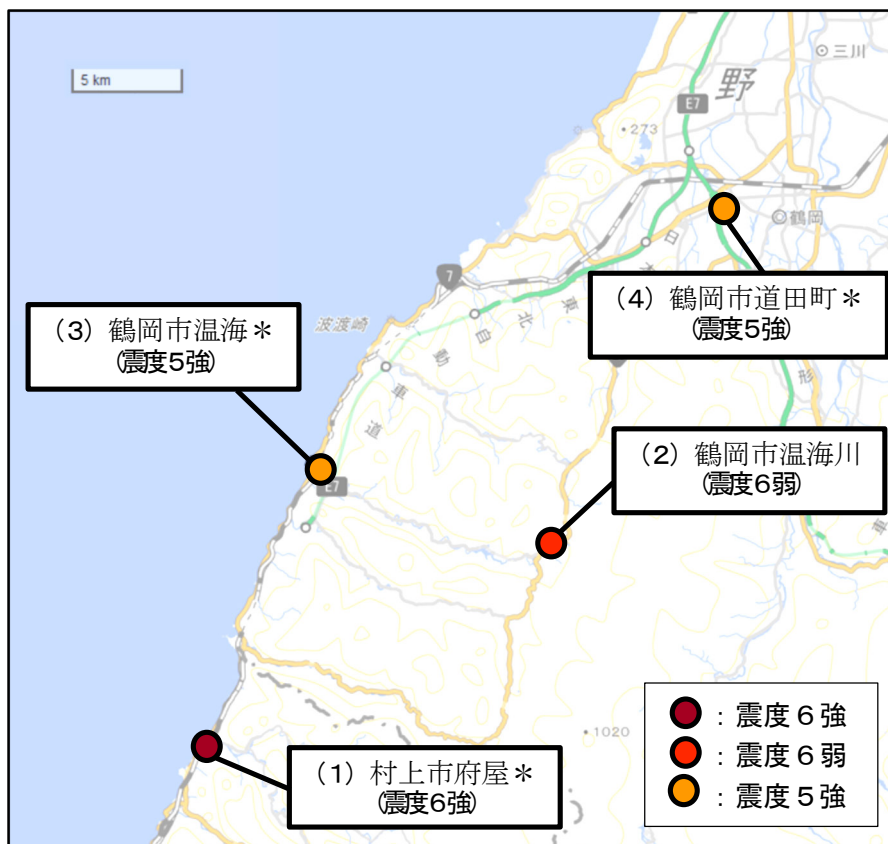


図7-1 調査地域（震度観測点）

観測点名の前の（）内の数字は表7-1の番号に対応する。
（*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す）

地図出典：国土地理院

エ. 地震動による被害状況調査結果

震度観測点の周囲約 200m の範囲内で、地震動による建物被害、地割れ等の地面の被害状況の確認、および被害状況の聞き取り調査を実施した。結果は以下のとおりである。

震度6強を観測した震度観測点（村上市府屋*）周辺では、のり面の一部崩壊（写真1）、塀の損壊（写真2）、屋根瓦の崩落（写真3）、駐輪場の倒壊（写真4）、道路の損傷（写真5）などが認められ、概ね気象庁震度階級関連解説表と整合していた。また、震度6弱および震度5強を観測した震度観測点（鶴岡市温海川、鶴岡市温海*、鶴岡市道田町*）周辺では、外観からの被害は認められなかったが、聞き取り調査によると「立っていることが困難」「冷蔵庫が多少ずり動いた」「柵の本がほとんど落ちた」などの証言があった。

（注）観測点名の*印は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す。

・ 村上市府屋*（震度6強）周辺の被害状況



写真1 のり面の一部崩壊



写真2 塀の損壊



写真3 屋根瓦の崩落



写真4 駐輪場の倒壊



写真5 道路の損傷